

# 下太田行政区 ふれあい懇談会会議録 (第5回)

開催日 平成 27 年 11 月 10 日(火)  
18 時 30 分から

開催地 下太田集会所

参加者 27 名

---

## 【質疑】

質問 1 : 道路の除染について、特に学校の周りになるが、歩道の縁石がある道路側の除染はやらないと聞いているが、土がたまり若干線量が高いところもあるので除染出来ないか。

回答 1 : 縁石の淵に土がたまって線量の高い場所があることは、確認されております。車道部分を全面除染する形にはなりません、縁石周りの土等の取り除きは対応してまいります。

質問 2 : 除染について、前の説明会で詳細に説明いただいたが、細かいことになるが、このような草は駄目だとか、何センチの木くずは自分で処理するなど取り扱いがあれば教えてほしい。

回答 2 : 各々のお宅で、様々な状況になっていると思います。一番はいぐねの枝が落ちている場合は、細いものについては回収いたしますが、直径5センチ以上のものは回収できないなど各現場で対応しております。出来る限り除染をするものについては、除去する形で対応しておりますが、現地調査の時などに聞いていただき、事業者や市で対応出来るものについては、対応してまいります。

質問 3 : 宅地除染について、0.23マイクロシーベルト以下は除染しないと聞いたが、現在、全て0.23マイクロシーベルト以上で除染している家とスポットで除染している割合はどれくらいか。

回答 3 : 覚えている範囲になりますが、本陣前や上町は0.26マイクロシーベルトで全体を除染するか、局所的に除染するかになりますが、本陣前や上町では全体除染と局所除染の割合は半々です。また、旭町になると、全体除染が2割程度で残りが局所除染となっております。

質問 4 : 街灯設置の件について、第三中学校の前の道路を東側に踏切を渡って行

く道路になるが、正確に測ってはいないが、説明のあった設置基準値よりは少ないと思う。中学校の通学路でもあるので、設置を検討してほしい。

回答 4 : 基準値以外は付けないということではなく、地元から要望があれば付けますが、市で付ける場合は電柱があることが基本になります。単独柱はお金がかかり、後々管理に不具合が生じております。このような形で、区長さんと共に調査をしなければなりません。予算の枠はありますが、優先順位を付けながら地元の意向に沿うよう防犯灯行政を進めてまいります。

質問 5 : 牛川橋の欄干が邪魔をして、高地区から来る車が一瞬見えなくなる。東側から来る中学生も交差点を渡っていいのか迷っている状況なので、何とかしてほしい。

回答 5 : 現場の状況を把握して、危険を促す又はカーブミラー等で対処出来るのか調査します。

質問 6 : 防犯カメラの設置条例も出て、市内や20キロ圏内も含めて付けるようだが、ぜひ原町第三中学校周辺に設置してほしい。

回答 6 : 現在、市内27箇所に防犯カメラを設置する準備を進めております。このカメラについては、学校や通学路を優先して設置していきたいと考えておりますが、現状27台という数でありますので、第一期で付けた防犯カメラの検証と効果を確認しながら、財政課と協議し増設していきたいと思っております。

質問 7 : 最近、特に交通事情が厳しくなっている。各地区から、信号機の設置の要望があるが、公安から許可が出ないような話は聞いている。市として、どうしてもここに設置したいという要望があれば、警察の対応は可能になるのか。

回答 7 : 信号機の設置は、県の公安や警察で状況を確認しながら設置しております。南相馬市は、復興に向けての交通量が増えている路線もあることから、県内全体の交通事故は減少しておりますが、南相馬警察署管内では、交通事故は増えております。こういう状況を鑑みながら、県に対しても交通安全対策のために、信号機の新規設置等についてお願いしておりますが、厳しい現状との回答ですので、交通事故を無くす観点からも、引き続き県や警察署に信号機設置の要望をしております。

質問 8 : 下太田には原町第三中学校があり、太田小学校や大甕小学校から来る学区になっている。来年の太田小学校新入児童の話を聞いても、とても少ない。市として、小中一貫校も含め学校のあり方を考える時期でもあるので、今の考えを聞かせてほしい。

回答 8 : 児童数の問題が一番です。どの幼稚園や学校も残してほしい、再開してほしいと言われます。象徴的な例を申し上げますと、真野小学校が昨年閉鎖せざるを得なかったのですが、本来から児童数が少なかったことに加え、東日本大震災で鳥崎地区に残る人が少なくなる状況に追い込まれ、継続が出来ないことから閉校して鹿島小学校に統合することになりました。幼稚園の例では、石神も早く再開してほしいという思いは分かります。出来れば思いを叶えたいと思いますが、最大の問題は保育士の確保になります。今、0歳児から未就学児の幼稚園や保育園の無料化が始まり、幸いにして新生児も含めて増えてきており、結果として今年あずま保育園を再開し60人を受け入れましたが、それでも今、待機児童が出ている状況ですので、幼児数が増えてきた状況を見ながら太田幼稚園の再開も検討しなければならないと思います。

質問 9 : 公安委員会の話だが、車の量が増えていて右に曲がりたくても曲がれない箇所が増えている。矢印の信号の希望を出しているが、市として、もっと強く申し入れは出来ないのか。

回答 9 : 既存の信号機について、渋滞緩和のために交通量を見ながら時間調整をしています。信号機があり、片方が渋滞していて片方の通行がないような状態を解消するように、強く申し入れしてまいります。

質問 10 : 市として、有害鳥獣駆除の予定はあるのか。

回答 10 : 市で、捕獲隊を編成して実施しております。山側を中心に駆除を継続しておりますが、まちの方にも下りてきている状況です。イノシシ等を見かけた際は、お手数ですが農政課までご連絡ください。

質問 11 : 有害鳥獣のイノシシの件だが、見かけたらすぐ連絡と言っても、実際すぐにはなくなる。第三中学校の近くで掘り起こしている場所が沢山あるので、そこをぜひ見ていただいて対応してほしい。

回答 11 : そういう場所を巡回させていただきながら、対応させていただきます。

質問 1 2 : 婚活の話があったが、実際に結婚して子育てするにしても、現状のままだと安心して子育てが出来ない。そう考えると、婚活する気にもならない。出生率も維持しないと、数十年後には地方自治体も消滅してしまうと思うが、市として、今後どのような形にしていくのか。

回答 1 2 : 昨年から、幼稚園や保育園料を無料化にしているのは、若いお母さん方の年代が、働く場があるのに働けない、家族がバラバラになって子どもの面倒を見てくれる人がいないということから無料化にしております。結果として、1年で200人増えました。市として、1億1千万円が毎年出ていきますが、それでも子どもたちが増えれば、地域もまち全体も明るくなりますので、このようなことを第一にやっております。婚活については、婚活の機会をあらゆる場でやりましようと考えております。特に、若者の目線でこのようなことをすればいいのではないかなど、積極的に取り上げてまいりますので、積極的にそのような声を上げていただきたいと思います。

質問 1 3 : 子ども手当を支給してもらっているが、毎年更新手続きをしなければならないので、それをもっと簡略化出来ないか。また、現在給食費を払っていない人もいると聞いたが、子ども手当を給食費に充てて平等にすることは出来ないか。

回答 1 3 : 子ども手当は国の制度で申請主義になりますので、更新手続きは必要になります。給食費の問題は、ごく一部の人たちにはなりますが、制度上全く別のものになりますので、出来ないことになっております。

質問 1 4 : 若い人たちが仕事をする場というのは、新たに企業誘致をするのか。現状は、どこの企業も人がいないと思う。人がいないのか、仕事をしないのかの話になるが、市としてはどのような対応をするのか。

回答 1 4 : 企業誘致は、震災後国や県の補助制度もあり進んでおります。特に、下太田工業用地については、新たな企業も出てきております。その一方で、南相馬市にある地場産業など就業の機会がありますが、従業員が足りなくて困っております。働きたくても働く場所がないという状況ではありません。求人倍率は、2.3倍を超えているくらいの状況で、福島県の中でも南相馬市のハローワークが一番多いです。働きたくない人は、色んな意味で就業意欲が必ずしも大きくない人たちではないかと思えます。企業からは、働き手を連れてきても泊まる場所がないので、アパートなど確保してほしいという要望は出されております。